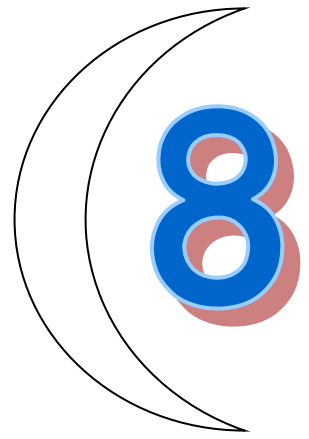


# 2014. 2. 28 第8回 パソコン教室 太田 宏

## Word と Excel の基本



### Word で「段落」をマスターしよう

インデント、段落前後の間隔  
なんでも相談

### Excel 関数

Excel 関数を知れば生活もらくちん・・・  
九九の掛け算表  
なんでも相談

### スマホアプリ

楽しい無料アプリの紹介  
その他 悩みごと相談

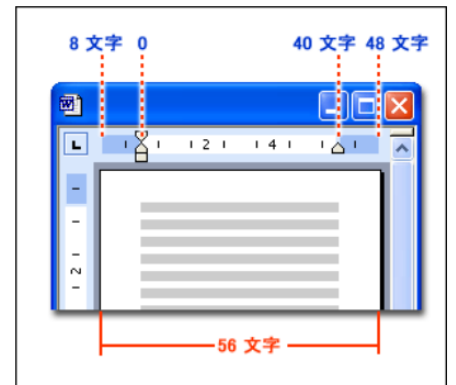
Word を立ち上げます→ (すでに立ち上がっていて文章が表示されている状態からは、[ファイル]→[新規作成]→[作成]ボタン)  
本日は、段落を勉強するのでまず、Word の基本から。

下図を参照。

水平ルーラー・・・上下左右に物差しを表示 ([表示]タブ→[表示]グループ→[ルーラー]にチェック、または右スクロールバーの上のアイコンをクリック)

既定値：左余白マーカー・・・余白3cm (8文字)、右余白マーカー・・・余白3cm (8文字)

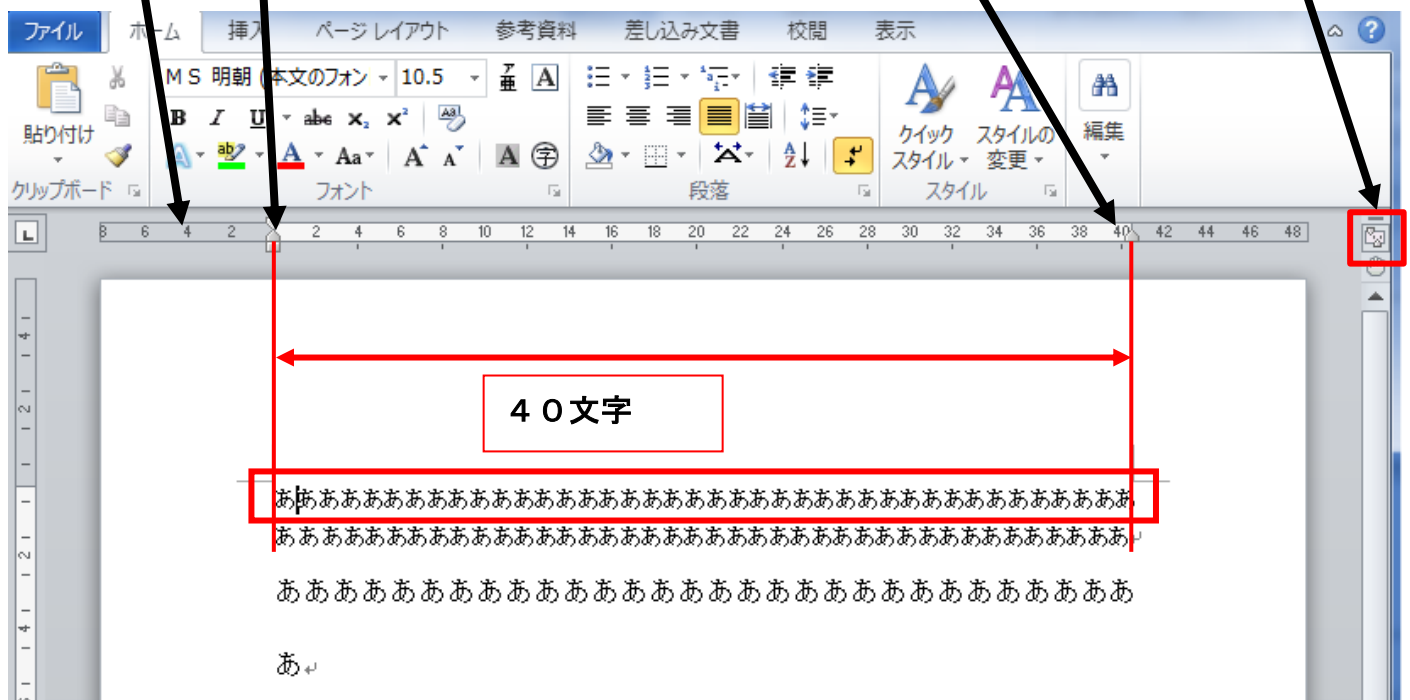
21cmの紙幅を56文字分 (3.75mm・・・1文字)、余白左右8文字 中身40文字




水平ルーラー


左余白マーカー (灰色の左端)


右余白マーカー (灰色の左端)  
水平ルーラーの表示/非表示




**インデントの設定**・・・体裁いい文章を入力をするためにインデントを理解しよう。

・・・[1行目インデントマーカー]・・・段落の1行目を開始する位置(先頭位置)・・・左余白マーカーからの相対位置(文字数)は、左インデント+字下げ文字。通常は0。

・・・[ぶら下げインデントマーカー]・・・段落の2行目以降の行頭位置。四角形のマーカーの上に表示される三角形のマーカー。

・・・[左インデントマーカー]・・・段落全体の行頭位置。ぶら下げインデントマーカーの三角形の下に表示される四角形のマーカー。

・・・[右インデントマーカー]・・・段落全体の行末位置。

下記例では、

左インデント・・・8字、

右インデント・・・6字、

最初の行・・・字下げ 4字・・・通常は字下げを1字で行うと読みやすい文章になります。段落の度に、最初の文字が1字右にずれる。



**1行目のインデント**  
段落全体の行頭位置から右にあるため字下げと呼び4字

右インデント 6字

ぶら下げインデントマーカー=左インデントマーカー  
2行目以降と段落全体のインデント・・・

[挿入]-タブのギャラリーには、文書全体の体裁に合わせて調整するためのアイテムが含まれています。これらのギャラリーを使用して、表、ヘッダー、フッター、リスト、表紙や、その他の文書パーツを挿入できます。図、グラフ、図表を作成すると、文書の現在の体裁に合わせて調整されます。

インデント

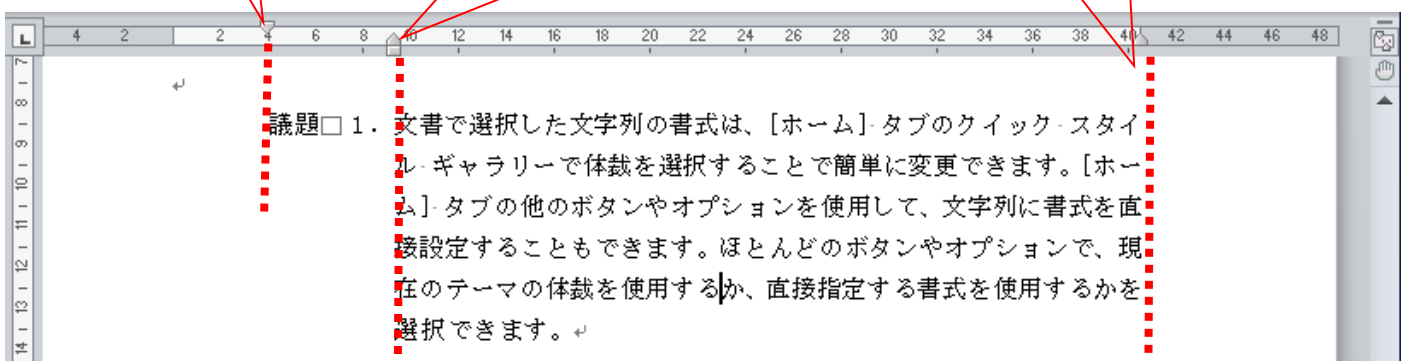
左(L): 4字 最初の行(S): 幅(Y):  
 右(R): 0字 ぶら下げ 5字

1行目のインデントは4字

ぶら下げ・・・5字

1行目のインデントが2行目以降のインデントより左にあるため、2行目以降を「ぶら下げ」と呼ぶ。このとき  
 2行目以降の段落のインデント=左インデント4字+ぶら下げ5字=9字

右インデント0字

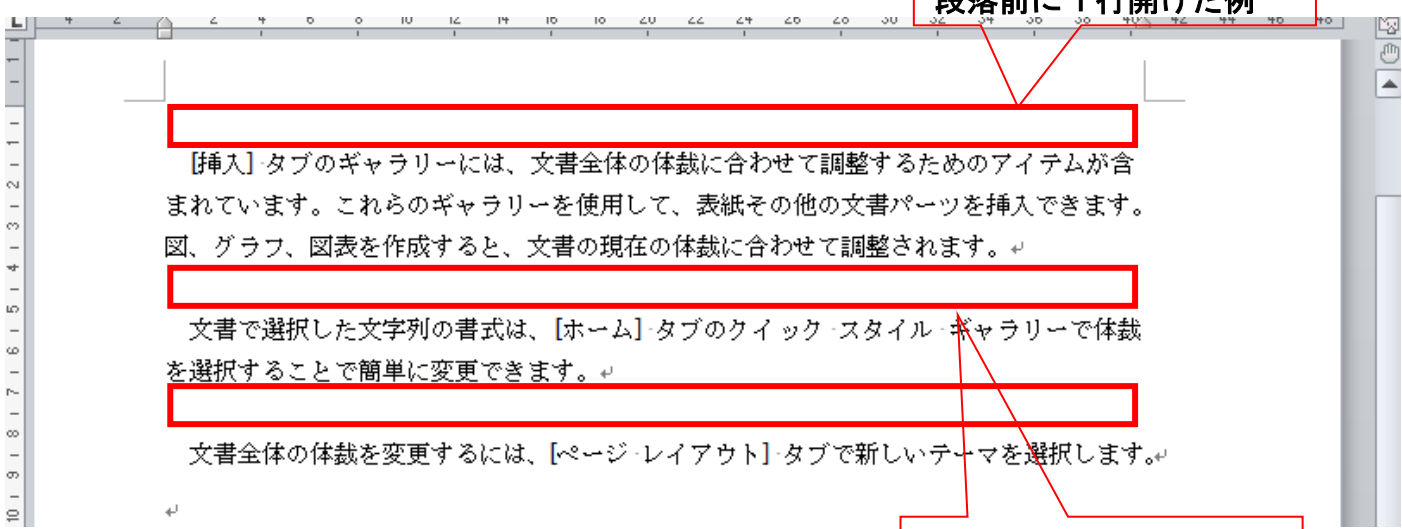


段落前後の間隔・・・段落前後に行を開けることができる。0.5行単位。

間隔

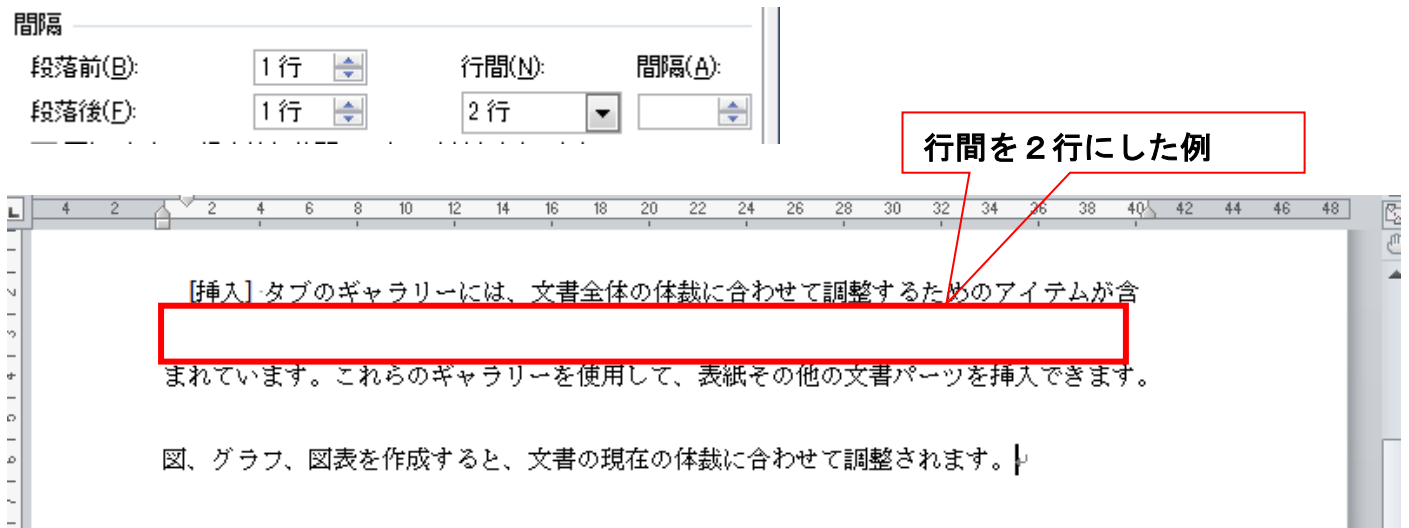
段落前(B): 1行 行間(N): 間隔(A):  
 段落後(E): 1行 1行

段落前に1行開けた例



段落後に1行開けた例

段落の行間・・・一つの段落ごとに行間をしてできる（既定値は1行）



Excel・・・特価を計算しよう。（ファイル名・・・140228\_Excel\_1）

A, B, C・・・列(Colum)、1, 2, 3・・・行(row)

下記例では、特価=定価\*(1-値引き率)・・・セルE4に「=C4\*(1-D4)」と入力。（半角）  
「=」を入力後、セルをクリックすると、セル位置が自動的に入力される。

	A	B	C	D	E	F	G
1	年末商戦対象商品					消費税率	8%
2							
3	型番	商品名	定価	値引き率	特価	消費税	税込価格
4	1011	冷蔵庫RR	256,000	30%			0
5	1012	冷蔵庫BR	198,000	30%			0

セルE4に179,200と計算結果が表示され、数式バーに「=C4\*(1-D4)」と表示される。

数式バー

	A	B	C	D	E	F	G
1	年末商戦対象商品					消費税率	8%
2							
3	型番	商品名	定価	値引き率	特価	消費税	税込価格
4	1011	冷蔵庫RR	256,000	30%	179,200		179,200
5	1012	冷蔵庫BR	198,000	30%			0

特価
179,200
138,600
80,500
63,000
29,500
19,500
43,000
23,800
20,860
10,920
17,920
9,480
7,380
5,880
4,060
4,060
6,860

数式を下方のセルにコピー・・・セル E4 を選択し、セル右下の■（フィルハンドル）をダブルクリック。あるいは下方にドラッグ。数式がコピーされる。因みにセル E20 の数式は、「=C20\*(1-D20)」となる。このようにコピーする方向に依存して、式が自動的に組み立てられる。

## 常数計算

消費税を計算しよう。消費税は4月からの8%という値が入った **G1** を使うことにする。

セルF4は、 **=E4 \* G1** となるが、G1は常数なので、セルG1を固定しなければ

ならない。このままの状態に下方に数式をコピーしていくととんでもない値となってしまいます。ちなみに、セルF5は「=E5\*G2」となり、答えは0。セルF6は「=E6\*G3」となり#Value! (計算ミス) となってしまふ。

なぜならセルG3には“税込価格”という文字列であるから。

セルF5の式を「=E5\*G1」にするためには、セルF4の式を、 **=E4 \* \$G\$1** としなければ

ならない。\$を付けた行や列が固定される。\$G\$1は行Gと列1を固定すなわち、G1を絶対参照とするという意味になる。

\$ \$マークの入力のしかた・・・ **=E4 \* G1** カーソルが「G1」にある時に**F4キー**を

押す。 **=E4\*G\$1**

F4キーは一回押すたびに **G1 → \$G\$1 → G\$1 → \$G1 → G1** と変化し、これを繰り返す。

今の場合には数式を下方方向にコピーするのでG列はもともと変わらないため、**=E4 \* G\$1**でも答えは同じ。

フィルハンドルをダブルクリックして数式をコピー。

E	F	G	
	消費税率	8%	
	特価	消費税	税込価格
%	179,200	14,336	193,536
%	138,600	11,088	149,688
%	80,500	6,440	86,940
%	63,000	5,040	68,040
%	29,500	2,360	31,860
%	19,500	1,560	21,060
%	43,000	3,440	46,440
%	23,800	1,904	25,704
%	20,860	1,669	22,529
%	10,920	874	11,794
%	17,920	1,434	19,354
%	9,480	758	10,238
%	7,380	590	7,970
%	5,880	470	6,350
%	4,060	325	4,385
%	4,060	325	4,385
%	6,860	549	7,409

F4		fx =E4*\$G\$1					
	A	B	C	D	E	F	G
1	年末商戦対象商品					消費税率	8%
2							
3	型番	商品名	定価	値引き率	特価	消費税	税込価格
4	1011	冷蔵庫RR	256,000	30%	179,200	14,336	193,536
5	1012	冷蔵庫RR	138,600	30%	100,000	8,000	108,000

税込価格には、数式 **税込価格=特価+消費税**という数式、セルG4であれば「=E4 + F4」がすでに挿入されているので自動的に計算された。

**九九表を作ってみよう。**ここでは絶対参照(\$G\$1 など)よりもさらに応用範囲の広い、混合参照(G\$1 や\$G1 など)を勉強します。Sheet2 を開けて、手順どおりに九九表を作成する。3行目に1から10とB列に10から100の数値が既に入力されている。各セルに上の数値(3行目)と横の数値(B列)の掛け算の答えが入るように、C4に式を組み立てる。その式は下方向と右方向にコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1				九九の計算								
2												
3			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4		10										
5		20										
6		30										
7		40										
8		50										
9		60										
10		70										
11		80										
12		90										
13		100										
14												

解答

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1				九九の計算								
2												
3			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4		10	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
5		20	20	40	60	80	100	120	140	160	180	200
6		30	30	60	90	120	150	180	210	240	270	300
7		40	40	80	120	160	200	240	280	320	360	400
8		50	50	100	150	200	250	300	350	400	450	500
9		60	60	120	180	240	300	360	420	480	540	600
10		70	70	140	210	280	350	420	490	560	630	700
11		80	80	160	240	320	400	480	560	640	720	800
12		90	90	180	270	360	450	540	630	720	810	900
13		100	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1000
14												

面白い関数の例「now 関数」

「=now()」とセルに数式を入れると、今日の日付と時間が表示される。

「rand 関数」

「=rand()」とセルに数式を入れると、乱数(0から1の間のランダムな数値 小数点6桁)が発生される。再計算はF9キーを押す。押すたびに数値が変わる。

足し算などの具体的な表・・・確定申告表(H25年用)ですこし説明します。

過去のレジメ 及びパソコン面白講座は下記 URL にアクセスしてください。

[http://www.sarabun.org/3\\_ivents/PC\\_Lecture/PC\\_lecture\\_index.html](http://www.sarabun.org/3_ivents/PC_Lecture/PC_lecture_index.html)

サラ文の HP top の「行事一覧」から「パソコン教室」をクリックしても迎れます。